

本物がどうかは

生徒会執行部が「学びポケット」にアップしてくれている、各クラスへの「誇れる姿」を見ています。学級独自のこだわりポイントを決め、その実現に向けて努力を積み重ねていくことは尊いことです。これからも継続させてくださいね。

そこで、全ての学級で気に留めてほしいのが、「誇れる」という部分です。いや、「気に留めてほしい」「レベルではありません。それを深く考えてほしい」と思います。

どんな姿であっても、それを誇る事ができるものにするためには、何が必要でしょうか。それは「時間」だと、私は思います。

現在執行部がアップしている各クラスの「誇れる姿」はいつから始まったものですか。「あいさつ」にしても、「教室環境の徹底」にしても、はたまた、「切り替えの早さ」や「教え合い」にしても、学級の揺るぎない力として今身に付いていると自信をもって言えますか。簡単に言うと、自分たちのこだわりは、本物の力となっているかどうかです。

本物の力となっているかどうかは、どれくらいの期間そのこだわりが続き、高まっている状態が維持できているかでわかります。取り組み期間中だけのものであれば、結局、「付け焼刃」的なものだけと言わざるを得ないでしょう。本物とは、「いつ、どんな状況で行っても、それが維持できる状態であること」だと私は思います。それが実現した時、初めて「誇る」ということができるのではないのでしょうか。

どうですか、発信されたあなたの学級の「誇れる姿」は、一週間後も一か月後も、令和四年に入っても、そして、卒業式や学級解散式当日になっても、現在の高まった姿が継続できそうですか。いや、「誇れる姿」として発信した以上、何が何でも続けるべきだと思いますよ。

今回、「誇れる姿」として発信された画像や動画は、結果発表ではないと私は考えています。むしろ、卒業や解散をするまでずっとこたわり続け、絶対実現させるという決意表明だととらえています。それくらい意気込みで臨んで初めて、「誇る」ということができるのではないのでしょうか。

生徒の皆さんだけでなく、これは担任にも深く考えてほしいことです。生徒たちの頑張りを継続させ、本当に力として身に付けさせるのか、それとも、取り組み期間中の打ち上げ花火として「頑張ったね」だけで終わるのかは、担任次第と言えます。

生徒会執行部にアドバイスします。「『誇れる姿』その後」をアップしてください。継続できているかどうか、レベルアップやレベルダウンしているかどうかをぜひ知りたいですからね。シリーズ化するほど面白いかも。その学級のこだわりが本物かどうかは、今後わかるはずですよ。